社会系教科教育学研究

第34号 2022年

	文化の違いから生じる多義性を活用し概念の意味拡張をめざす社会科概念学習 -責任概念に着目した単元「廣島・ヒロシマ・HIROSHIMA」を事例に - ・・・・・・・・ 新 谷 和 幸	(1)	
	論争問題の議論における一部生徒の「論破」「議論支配」の回避法 - ある中学校教師のリヴォイシング行為についての事例研究 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(11)	
	- 生徒の価値や思想が含まれる言説構築をいかに指導し、いかに評価するか星 瑞 希エージェンシーの育成を目指す小学校社会科授業構成	(21)	
	- 外部連携を通した単元開発を事例として - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(31)	
	- 地方議員の立場からの政策検討をとおして	, ,	
	- 「公共の福祉は多数決か」を事例に - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(51)	
	- 比較、関連付けによる「歴史の問い直し」に着目して - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(61)	
	- 公民科「倫理」のカリキュラムデザインを事例に 奥村 尚・小野創太証言的不正義状況への対抗を目指す社会科議論型学習の授業構成	(71)	
シ	- 「暗黙のバイアス研修」を手がかりに - · · · · · · · · · · · · · · 田 中 崚 斗 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(81)	
書	高等学校科目再編をふまえ小・中学校社会系教科のあり方を見直す桑原敏典・阪上弘彬 書評	(91)	
	米田豊編著『「主体的に学習に取り組む態度」を育てる社会科授業づくりと評価』 吉 水 裕 也 二井正浩編著『レリバンスの視点からの歴史教育改革論	(95)	
	-日・米・英・独の事例研究 - 』 山 内 敏 男 石川律子著『小学校の先生へ』 關 浩 和	(97) (99)	
	新谷和幸著『概念カテゴリー化学習の理論と実践 - 小学校社会科カリキュラム開発を視野に - 』 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(101)	
	- 資質・能力の多様性と学際性を視点として - 』 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(103) (105)	
	兵庫教育大学連合大学院・防災教育研究プロジェクトチーム著『近年の自然 災害と学校防災Ⅲ – グローカルな「生きる力」を育成する防災、減災 – 』 · · · · · · · 福田喜彦	(107)	



【編集後記】

『社会系教科教育学研究』第34号が完成いたしましたので、お届けします。

今年度から高等学校でも新教育課程が本格的にスタートしました。地理歴史科・公民科の科目もこれまでとは大きく異なるラインナップになり、同時に子どもにとっての学ぶ意味がより重視されるものとなりました。さらに、指導要録への観点別評価の記載が高等学校でも必須となり、授業実践の変革が求められています。

また、2022年は社会系教科教育に関わる者にとってもインパクトの大きな年でした。2月には国連の常任理事国であるロシアがウクライナに侵攻し、核兵器での恫喝も行いました。国際連合の存在意義自体が大きく揺らいでいます。7月には、安倍元総理銃撃事件が起こり、公人への「暴力」行為に大人も子どもも衝撃を受けました。この事件によって、日本の政治や社会の抱える諸問題が浮き彫りになりました。11月には、国際情勢

の変化を背景に日本の防衛費を倍増させ「反撃能力」の整備などに充てる政府の方針が固められました. このような動きの中, 今後, 社会系教科は平和と暴力に対して, どうアプローチするのかが問われることになると思います.

本号では、民主主義社会の一員として、このような変化の時代に生きるための力をどのようにして子どもたちに培うのかという課題に迫る論文9編、および書評7編と研究発表大会のシンポジウム報告を掲載することができました。

なお,ご投稿いただいたものの残念ながら掲載 に至らなかった方々におかれましては,さらに研 究を深めて再投稿してくださいますよう期待して おります.

最後に、論文審査にご協力いただいた審査員の 皆様、編集に携わって頂いた皆様に心より御礼申 し上げます。

(二井 正浩)

2022年12月22日 印刷 2022年12月22日 発行

社会系教科教育学研究 第34号

編集者 社会系教科教育学会編集委員会 **発行者** 代表 社会系教科教育学会会長

> 關 浩 和 〒 673-1494

兵庫県加東市下久米942-1 兵庫教育大学社会系教科教育研究室内

印刷所 株式会社 興文社

〒 651-2144

神戸市西区小山 3 丁目 201-2 電話 (078) 924-9800 Vol.34 Dec.2022

JOURNAL OF RESEARCH ON EDUCATION IN THE SOCIAL STUDIES DEPARTMENT

CONTENTS

Articles
Social Studies Class to Learn the Polysemy of Concepts:
Unit "Hiroshima with Three Meanings" Focusing on the Concept of Responsibility/Sekinin · · · · Kazuyuki Niiya · · · · 1
Measures to address the "defeating" or "monoplizing" behavior by some students in discussions of
public issues : Focusing on some revoicing behaviors by a junior-high school teacher $$
Strategy for the teaching and assessment of the learning about difficult history:
How to help students construct and evaluate discourses that contain their values · · · · · Mizuki Hoshi · · · · 21
Composition of Elementary School Social Studies Lessons Aiming to Foster Agency:
A Case Study of Unit Development through External Collaboration
Elementary School Politics Unit Development that Fosters a sense of Autonomy as a Citizen:
Through Policy Reviews from the Standpoint of a City Council Person
Development of Junior High School Social Studies Lessons Aiming for Deep Learning by "Ask and Reconsider":
An example of whether public welfare can be decided by majority
Development of a Lesson for the Study of "Modern and Contemporary History" to Achieve Organizing Plural Interpretation of
Era by Expansion of Spatial Scale: Focusing on "Reconsideration of History" based on Cooperation and Association
How and Why is Rationale of a Department Not Experienced to Teach Developing? :
A Case Study of Curriculum Design for "Ethics" in Civics
The Structure of Social Studies Discussion Lesson to Counter Testimonial Injustice:
Focusing on The "Implicit Bias Training"
Reports of Symposium and Conference Sessions
Book Reviews

Edited by
EDUCATION IN THE SOCIAL STUDIES DEPARTMENT
RESEARCH ASSOCIATION
JAPAN